

Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて!～

ロボットやAIなど、技術進歩がめざましい昨今。メディセレ医療顧問の原正彦医師が、「mediVRカグラ」を開発しました。これは仮想現実（VR）の技術を応用したリハビリ機器で、歩行に必要な運動機能や姿勢バランスなどの改善に役立つとされています。

従来のリハビリでは測定が難しく、患者さんや理学療法士の感覚に頼って効果を判断してきました。しかしカグラを使うことでリハビリの進捗度を数値化できます。反応スピードや「何センチ腕を伸ばすことができた」なども記録できるため、成長度が見えやすく、リハビリの意欲を維持・向上しやすくなると期待されています。

また、カグラは遊び要素を取り入れており、テレビゲーム感覚で楽しめます。手元のコントローラーを動かして仮想空間内のボールをキャッチし、アイテムを採取したりすることで可動域が広がり、体幹が鍛えられます。結果的に車椅子での姿勢保持や、歩行などに必要なトレーニングが行えるのです。今後の薬剤師の役割を考えると、カグラのような発想の転換が必要であり、IoTアプローチに対応できる薬剤師の育成も必要だと思いました。

7月6日（土）10時から、メディセレ大阪校で老人ホームの入居者さんをお招きしてメディセレスクール生とカグラの体験会を実施します。ご興味のある方は弊社にお問い合わせください。

メディセレスクール ファウンダー 児島 恵美子